

市
議
会
報

大 野

No. 29

52. 5. 15

発行 大野市議会

TEL. 6-1111

(内線 303)

3月定例市議会

新年度予算決まる

一般会計 47億3,434万円
特別会計 13億5,153万円

31議案を可決・認定・同意

東小学校 2億5,388万円、ごみ焼却場 3億4,984万円など……

第164回3月定例市議会は3月11日招集され、冒頭正・副議長辞任により直ちにその選挙が行なわれた後、会期を24日までの14日間と定め、市長の施政方針演説（内容は市報に掲載済）があり、理事者から提出の議案30件、継続議案1件を慎重に審議いたしました。その結果9議案を賛成多数で、22議案は全会一致で、それぞれ原案どおり可決・認定・同意いたしました。

また、市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決め、24日閉会いたしました。

なお、市政に対する代表・一般質問が3日間にわたって行われました。



～ お も な 議 案 ～

▼昭和52年度大野市一般会計予算

予算総額は47億3,434万円。前年度対比で27.3%の伸び率である。

予算の主な内容は次のとおり。

(歳 出)

バス路線維持補助金600万円。庁舎補修工事850万円。土地借地料3,737万円。土地開発公社補償金4,781万円。幼児交通安全教育61万円。交通安全対策費600万円。地下水かん養対策費376万円。社会福祉協議会補助294万円。心身障害者訓練補助48万円。身障・精薄・老人等の家庭奉仕員報償520万円(5人分)。身障者・精薄者施設収容委託料7,434万円。身障者扶助費2,

369万円。敬老会補助183万円。老人クラブ補助418万円。老人医療費扶助2億342万円。老人措置費9,553万円。老人健康診断委託104万円。母親クラブ補助130万円。小規模保育所補助84万円。児童手当4,911万円。乳児医療扶助262万円。保育所費1億2,622万円。私立保育所委託1億6,587万円。私立保育所運営費補助1,014万円。母子家庭児童生徒扶助226万円。生活保護扶助1億3,891万円。成人病対策費514万円。休日診療補助210万円。国民健康保険会計繰出金1,222万円。葬斎場納骨堂建設200万円。簡易水道会計繰出金468万円。不燃物収集委託517万円。焼却炉補修110万

円。清掃車更新420万円。し尿前処理施設建設1億520万円。清掃センター建設3億4,984万円。労働金庫預託3,000万円。労働者信用基金預託500万円。農業近代化資金利子補給336万円。カントリーエレベータ補助600万円。酒米安定園設置補助150万円。受託かん排工事1,195万円(中休地係)。市単土地改良工事237万円。園場整備事業補助7,657万円。県営工事負担金5,195万円。(大幹線農道、木ノ本かん排他)。農村工業関連補助303万円。第二次農業構造改善事業補助3,510万円。林業労働者対策202万円。特用林産物流通補助463万円(オウレン植付3.0ha、保育13.0ha)。林道鬼

谷線工事1,800万円。林道維持補修工事400万円。広域林道法恩寺線負担金300万円。市有林造林事業1,769万円。緑化大会 199万円。第2次林業構造改善事業補助 3,110万円(造林施設、生産施設補助)。林業振興センター建設5,758万円。千本杉線林道工事1,000万円。森林総合工事749万円。治山事業186万円。商工会議所補助 312万円。織物組合補助100万円。工場誘致奨励金242万円。地下水再生施設利子補給 117万円。中小企業資金融資預託9,300万円。商工中金預託500万円。県信用保証協会出えん金140万円。城まつり委託料150万円。道路維持補修費2,238万円。道路改良工事1億1,248万円。道路舗装工事7,790万円。県工事負担金1,817万円。橋梁維持補修費220万円。橋梁改良費1,780万円(小久保橋)。河川維持補修費356万円。河川改良費 850万円。三番線舗装工事1,380万円(新庄地係250m)。中野犬山線改良工事400万円。三番線改良工事1,862万円。上中野赤根線改良工事200万円。七間線改良県工事負担金1,140万円。駅東第2街路舗装負担金2,818万円。駅東公園整備1,895万円。荒井公園整備925万円。亀山公園照明灯修繕 213万円。本町下水路改良工事500万円。緑橋川下水路改良工事920万円。南部第二土地区画調査委託200万円。大野地区消防組合負担金1億5,518万円。阪谷小、乾側小の飲料水、地質調査委託173万円。東小学校校舎建築工事2億5,388万円。蔵生小危険校舎改築工事1,260万円。東・南小学校建設積立金6,204万円。私立幼稚園補助 210万円。同和教育対策200万円。青年、婦人、家庭、老人等の各学級開設費341万円。公民館図書購入114万円。市史編さん費 630万円。農林施設災害復旧費6,768万円。公共土木施設災害復旧費2,300万円。公債費1億5,085万円など。

(歳入)

市税11億3,337万円。地方譲与税 4,200万円自動車取得税交付金5,500万円。地方交付税12億5,000万円。交通安全対策特別交付金600万円。分担金及び負担金 7,555万円。使用料及び手数料7,834万円。国庫支出金 8億7,808万円。県支出金 3億 2,711万円。財産収入1,373万円。寄付金 1,141万円。繰入金 1億9,500万円。贈収 入 1億8,071万円。市債 4億8,800万円など。

議長に奥村忠光氏 副議長に平間源治氏



奥村議長



平間副議長

3月定例市議会初日の3月11日、斉藤秀雄市議会議長、茨山善三副議長が辞任、直ちに選挙が行われ議長に奥村忠光氏、副議長に平間源治氏が当選。また、特別委員会委員等の組替えも行われました。

●真名川ダム・水資源対策特別委員会

- ◎兼井 藤波 ○宮本 弘
- 大霞原 登 山崎 正昭
- 安田 武雄 杉本 夏男
- 杉川 栄 石田 善徳
- 斉藤 秀雄 林 達也
- 高田 新左エ門 山本 武

●議会運営委員会

- ◎林 達也 ○西川 文人
- 兼井 藤波 宮本 弘
- 杉川 栄 米村 喜六
- 石田 善徳 山本 武

◎委員長 ○副委員長

▼昭和52年度大野市国民健康保険事業特別会計予算

予算総額11億9,594万円。前年度に比して1億9,051万円の増で19%の伸び率である。主な内容は医療費の改訂に伴うもの1億7,059万円。高額療養費に伴うもの540万円。鍼灸マッサージに伴うもの992万円などである。これに充てる財源として、保険税で昨年の16%増を見込み6.762万円、国からの補助金1億2,585万円で、一般会計の繰出は昨年より643万円の減となっている。

▼大野市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

市長等の給与を昭和52年4月1日から市長は36万円を43万円に、助役は30万円を36万円に、収入役は26万円を31万円に教育長は22万5,000円を27万5,000円にそれぞれ引き上げを行うもの。

▼議会議員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議員の報酬を昭和52年4月1日から、議長は13万円を16万円に、副議長は11万8,000円を14万円に、議員は11万2,000円

を13万2,000円にそれぞれ引き上げを行うもの。

▼昭和51年度大野市一般会計補正予算

今回の補正では1億2,312万円を追加して、46億582万円となりました。

補正の主なものは次のとおり。

(歳出)

バス路線維持補助332万円。土地開発基金積立金256万円。財政調整基金1億2,500万円。納税組合奨励金414万円。大野燃素センター建設補助142万円など。

(歳入)

市税4,781万円。地方譲与税1,200万円。地方交付税1億5,518万円、使用料及び手数料85万円。県支出金974万円。贈収 入 313万円。市債7,670万円…などを追加し、繰入金1億7,392万円を減額。



三月十四、十五、十六の三日間にわたり議案に対する質疑ならびに代表・一般質問が行われ、十名の方々が理事者に質問し、その外にも多数の方々が関連質問を行いました。その主なものは、地下水の問題、青少年の非行問題、農協の合併問題、保育行政の問題に関するものでした。なお、これらの答弁には市長の外関係課長が当たりました。

**上水道建設を表明
着工年度は未定**

問 奥越の魅力ある中核都市づくりをめざす本市としては、産業用水、生活用水の全部を地下水のみに依存することは不可能なことであり、好むと好まざるにかかわらず上水道の建設を促進して、水問題の解決をはかるべきであると考えます。市長の決意を伺いたい。

答 施政方針の中でも述べたように、水問題の解決は上水道建設の方向で進めてゆきたい。良質にして安定した水量を供給するためには、上水道建設以外に方法はない。しかし、市民の理解と協力がなくては出来ない事業であり、PRを先行させ年次別計画を樹立して建設してゆきたい。

問 着工年度目標を何年度に予定しているのか。

答 年次別の計画等については、今後十分煮詰めていきたい。工期としては6年から8年、PR期間も入れると10年内外はかかるのではないかと思います。

中小企業の育成を強力に

問 鉄工業者等の倒産が相次いでいるが中小企業の育成についてどう考えているか。

答 中小企業の振興は、市全体の景気の

浮揚、市民購買力の伸長が前提だと考えている。商工会議所との連絡を密にして中小企業の育成に力を入れていきたい。当面の対策としては中小企業振興条例を活用して、商店街あるいは中小企業の振興に力を入れていきたい。保証協会への出捐金など、金融対策の面からも努力したい。

**両農協の合併促進
積極的に取り組み**

問 大野・上庄両農協において、それぞれ巨費を投じてカントリーエレベーター等の大型施設を建設しているが、これらを有効かつ効率的に活用するためにも、両農協の合併は必要だと考えるが、どうか。

答 両農協の農業施設が増加し、基盤整備、広域農道建設も徐々に進行してきているので、広域的に農業団体を合併すべき機運にあると考える。

問 この際、市長は行政の責任者として自らが乗り出し、合併の仲介の労をとるべき時期にきていると思うが、決意の程を承りたい。

答 両農協の新しい役員も選出されるので、新体制のもとに合併の推進を積極的に働きかけていきたい。

問 市長はその機が熟した時に合併を促進をするとのことであるが、機を熟させるのが寺島市政である。そのためには今

回合併に関する何んらかの予算が計上されるものと思っていたが、全くない。今後、市長は合併をどのように遂行していくとするのか。

答 これから意欲的に取り組んでいきたい。すべて物事はいろいろな条件がそろわないと、言うべくして実現は困難である。市がいったん口をきき出した以上は後戻りは出来ない。そのチャンスを選ぶことが大切である。あまり早くても難しい問題もあり、また遅れると将来に支障を来す事態にもなりかねない。ようやく機は熟しつつあると判断しているので今後積極的に取り組んでいきたい。必要な予算措置はその時期になれば当然お願いしたい。しかし、合併はあくまでも両農協自体であり、その意向、段取りを十分踏まえながら仲介の労を取るべきである。その段取りが出来ない間に予算化することはどうかと思う。

**過疎地域の施策の遅れ
積極的な取り組みを**

問 利用度が高く経済効果のあるところに重点的に投資することは当然であるがこのような方針のみでは、過疎地域の施策が遅れていくのではないかと。

答 山村振興は中心の課題になってきつつあるので、第3次の山村振興指定、有利な起債、補助というものを含めて積極的に努力したい。

青少年の非行化防止の対策は

問 施政方針の3重点の第1「明るく住みよい文化都市の建設」について、市長は教育施設の整備、キメ細かい福祉対策さらには保健対策と地下水対策を取り上げていたが、昨年来急激に増加している青少年非行化の防止については一言も触れていない。昨年9月の議会でもこの問題の重要性を取り上げた時、市長は最善の努力を約束したが、今次の対策の片りんもみられないのはどうしたことか、伺いたい。

答 施政方針の中で新しく取り立ててこの問題を強調しておらないが、教育委員会としては子供会の育成、あるいは青年

会議所においても重要視され、今回北海道方面へ中学生を派遣することについても協力をするというご趣旨である。今後とも出来る限りの応援をしていきたい。有終会館等の利用も非常に活発であり、これからも青少年対策として学校の開放あるいはその他の施設設備を利用して積極的に取り組んでいくべきである。青少年の直接の補導関係については、愛護センター補導員の皆さんが非常に熱心にやっていた。こういう直接の機関さらに警察、PTA、市民団体の皆さん方と連絡を密にして青少年の健全育成に一層努力していきたい。

真名川ダムの耐震強度はどうか

問 市民の60%以上が住んでいる市街地の上の方に真名川防災ダムが完成し灌水を始めているが、万一地震が発生した場合の安全確認のためどのような対策が講じられているか、伺いたい。

答 この強度については真名川ダム工事事務所の方に十分照会をして、絶対安全であるという確証を得ている。聞くところによれば、各国の学者が参加して決める絶対安全基準に則しており、ダムの建設に当たっては手取断層も通っているので、綿密に調査されているとのことである。127.5 mと非常に高いアーチ式のコンクリートダムで、設計書によるとこの地域は飛騨片麻岩という部類に層する地帯であって、岩質は極めて堅牢であると聞いている。

監査委員選任に同意

広 川 静(知識経験)

(明治36. 1. 3生)

大野市明倫町 6 番23号

高 田 新左エ門(議会選出)

(大正7. 1. 15生)

大野市高砂町 7 番11号

し尿くみ取りの苦情 今年は解消されるか

問 今回の当初予算でし尿処理前処理施設およびその他の経費として七千数百万円が計上されているが、果たして12月のし尿にかかる市民の苦情が解消されるのか。また、ブロック制によるマイナス面に対して、どのように行政指導を行うのか、今後強い行政指導が期待できるのか伺いたい。

答 12月にし尿のくみ取りが大変滞り、市民の皆さんにご迷惑をかけていることは大変申し訳ない。早速ピークを解消するためにも貯留槽の設置、あるいは前処理施設、余剰汚泥の脱水施設等を整備したいと計画している。

地域割制をとっている理由は、道路に面しない家庭のことを考えて業者が責任をもたせ、必ずくみ取らせるという考えからである。しかし、皆さんから地域割撤廃のご意見もあり、あるいは業者の中からもくみ取り数量の問題についてアンバランスがあるのではないかという意見も聞いているので、早急に話し合って善処したい。

毎年の保育料の値上げ 保育行政の後退ではないか

問 昭和52年度予算に保育料の値上げがすでに見込まれているが、ただ単に厚生省基準によって毎年保育料を値上げして、市民にその負担を強いることは福祉および保育行政の後退と考えざるを得ないが、どうか。

答 今後国の措置基準が変わってくると思うが、妥当な値上げを実施したい。もちろん保育料を据え置くことは誠に望しいが、そのために市の財政負担が極度に多くなることを考慮した場合、それに耐え得るような財政状況にはない。値上げ幅については極力抑制していく方針であるが、ある程度の妥当な値上げについては保護者のご理解をいただきながら実施したい。

人権擁護委員候補者 再推薦に同意

大 門 俊 我

(大正3. 12. 12生)

大野市錦町 4 番11号

山林労務者の後継者育成を

問 森林行政にける熱情ある方々によって造林の実が結ばれようとしているがその方々は高齢化され若い従業員が少ない。これは山にける当市にとって前途が暗い。市長は森林組合に対して若い指導者の育成をどのように指導しているか伺いたい。

答 大野は広大な山林面積を抱えている地域だけに、造林を拡大し林業関係の意欲を高めていくためには、森林組合を育成助長しなければならないという立場から、年来努力を重ねてきたつもりである。特にこれからはお年寄りだけでなく若い指導者を育成すべきであるという意見には全く賛成である。現在シイタケあるいはエノキタケ等の特産物について意欲を燃やしている若い皆さんが段々育ちつつある。林業構造改善事業の実施とともにこういう面にも力を入れていかなければならない。

労働福祉会館の建設 早急に実現を

問 労働福祉会館建設は勤労市民積年の願望であるが、今回の振興計画の中にはその対策は皆無である。早急に実現したいと思うが、その計画を伺いたい。

答 市の現在の財政事情、福祉会館等の建設過程の目標等から考えて、市は助成をしていくという方向で進まざるを得ない。今後労金、それから中心である地区労の皆さん方と十分話し合っ、市としては助成をするという形の中で一日も早く建設をされるように努力したい。

道路改良・舗装の促進
市民の切実な願い

問 市民が一番望んでいるのは道路の改良、舗装である。通学道路を始め生活道路を早急に整備すべきと考えるが、今回の予算は昨年並みを維持してはいるものの物価上昇等を考え合わせると完全な後退予算である。今後の予算計上に配慮願いたい、どうか。

答 昨年度並みは計上したつもりである。その他、市としてやっているのは広域営農団地農道、基幹農道、また土地基盤整備事業に併せて市道の子定をしている農道についてはあらかじめ2mの拡幅を実施している。町部においては都市計画事業に合せて道路の改良、区画整理事業に合せて舗装を今年も多額の金をかけて実施している。市民の皆さんが痛切に要望していることは道路の改良・舗装であるという意見については全く同感である。これが大きくは福祉対策につながるので、今後とも財源の許す限り努力したい。

2月臨時市議会

委員会委員の改選

第163回2月臨時市議会は2月28日招集され、会期を1日限りと定め、理事者から提出の議案1件を原案どおり可決し任期満了に伴う委員会委員の改選が行われました。議案ならびに委員会委員の改選内容は次のとおり。

▼昭和51年度大野市一般会計補正予算

今回の補正では1,307万円を追加して44億8,270万円となりました。

補正の主なものは次のとおり。

(歳出)

浮遊タンク取替工事332万円。中休かん排受託工事474万円。除雪費500万円。など。

(歳入)

普通交付税832万円。中休かん排受託事業収入474万円など。

◎委員長 ○副委員長

●総務委員会

- ◎推井清男 ○兼井藤波
- 金森幸蔵 杉川栄
- 角本守 斉藤秀雄
- 奥村忠光

●産業経済委員会

- ◎山崎正昭 ○石蔵一郎
- 大塚原登 西川文人
- 茨山善三 高田新左エ門

●建設委員会

- ◎米村喜六 ○米村武
- 村中清 宮本弘
- 林達也 山本武

●教育民生委員会

- ◎石田善徳 ○高津靖生
- 脇本義昭 安田武雄
- 杉本夏男 柴正夫
- 平間源治

昭和50年度歳入・歳出決算を認定

決算審査特別委員会の報告

第162回12月定例市議会において設置された決算審査特別委員会は、2月14日より3月4日までの間、付託された「議案第66号昭和50年度大野市歳入・歳出決算の認定について」を審査した結果、次の意見・要望を付して認定することに決したので報告いたします。

- ① 昨年の決算審査においても指摘されていることであるが、多額の不用額が生じている。この多くは事務、事業の不執行によって生じたものと解せられるが、それらについて何んら報告もなく、減額補正されることもなく、そのまま不用額として処理されることは、予算を定めた議会の議決が無視されたと言わざるを得ず、財政硬直化の折から誠に非難されるべき財政運営のあり方であると深く反省を求めた。
- ② 市の工商施策が貧困であるといわれ、不況の影深く、景気浮揚の問題、地下水

の再生利用の問題、大型量販店進出の問題など商工行政にまつわる問題が山積していたにもかかわらず、市長の諮問機関である商工審議会に一回の諮問もなされ

ていないということは、商工行政に対する意欲の欠如であると断ぜざるを得ない。今後これらの機関を十二分に活用し、沈滞する大野市商工業の発展のため総力を挙げて取り組むよう強く意見が述べられた。

③ 県立大野工業高校の借地料については、県の算定では米価が昭和48年度米価に据え置かれているためその差額三百数万円約1/3が市の持ち出しになっている。学校設立当時のいろいろな経緯もあろうかと思されるが、県、市の責任分野を明確化する意味からも一日も早く解消されるよう強く理事者の働きかけを要望した。

昭和50年度 大野市各会計決算総括表

(単位 円)

会計別区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	
一般会計	4,496,236,000	4,503,886,856	4,390,255,993	113,630,863	
特別会計	国民健康保険	835,440,000	869,920,315	832,643,384	37,276,931
	簡易水道	18,616,000	19,704,495	16,906,261	2,798,234
	食肉処理場	1,450,000	1,425,335	1,360,855	64,480
	北区画整理部	347,930,000	321,237,676	290,188,647	31,049,029
合計	5,699,672,000	5,716,174,677	5,531,355,140	184,819,537	

委員会の活動

● 総務委員会

付託された議案13件については、可決、審議の過程で問題となった点は、県関係施設用地の賃借料の取り扱いである。大野工業高校敷地については市は坪当たり1.5升の年貢をその年の米価で所有者に支払い、県は昭和48年米価で算定した賃借料を補給金という形で市に支払いをしている。このため市は昭和51年には三百数十万円に及ぶ持ち出しをしており、年々その金額は大きくなっている。このことについては理事者においてもあらゆる機会を通じて交渉を重ねているということであるが、地方財政法にもかんがみ、早急に解消されるようさらに強く要望した。

● 建設委員会

付託された議案5件、請願7件、陳情1件については、請願6件、陳情1件を継続審査とした外は可決・採択。

審議の過程で問題となった点は、①都市計画事業の補助事業予算獲得については、専ら市長の政治手腕にかかる問題である。従って市長自らが県と連絡を密にし、中央に対して積極的に働きかけ、補助事業予算獲得のため全力を傾注するよう重ねて強く要望した。これに関連して、七間線の街路事業が今回の予算に計上されているが、説明によれば第二種改良工事とのことであり、これでは1/2補助で、第一種改良工事の補助3/4に比べた場合、今後事業の継続遂行上、市の財政負担に大きく影響するので、是非とも第一種改良工事になるよう、積極的な働きかけを併せて強く要望した。②河川補修ならびに道路の改良舗装等に対する市の姿勢について論議が集中した。まず河川補修費の問題である。現在市は地下水節水の見地から、道路の融雪を規制しているため融雪溝の補修対策が望まれる。また、道路の改良、舗装の問題であるが、市民の道路整備に対する要望は極めて強く、なかんずく通勤通学等日常生活に密接した道路整備に対する要望は深刻であり、今

回の予算では住民も納得し難いものがある。当委員会はこれら河川補修費、道路改良、舗装費の今後の大幅な増額について、理事者の出席を求め6月補正に対する決意の程をただしたところ、趣旨に沿うよう努力するとの答弁があったので当委員会もこれを了とした。

● 教育民生委員会

付託された議案10件、請願1件、陳情1件については、可決・採択。

審議の過程で問題となった点は、①不燃物収集委託について本会議でも論及されたが、当委員会でも論議が集中した。今後の管理には、いやしくも市民から批判の出ないよう、万全を期すべきことを強く要望した。②学校周辺の通学路で未整備箇所が相当見受けられるので早急に年次計画を立てて舗装を実施すべきとの要請がなされた。③私立幼稚園に対する助成は年々改善がなされてはいるが、なお公立との格差が甚しく、父兄負担の格差解消、教育の機会均等の見地からも、なお一層努力されるよう要請した。

● 産業経済委員会

付託された議案4件、請願1件につい

ては、可決・採択。

審議の過程で問題となった点は、①大野市、上庄両農業協同組合の合併促進については、本会議の代表質問ならびに一般質問においても市長の姿勢を問われたが、本委員会においても最も論議が集中した。まず第1に合併促進の費用を予算化し、合併に対する市の態度を具体的に明確に示し、両農協のトップ会談の場を設定すべきである。このことによって組合員の合併に対する認識も深まり、その機運も飛躍的に増進されるので、座して機の熟するのを待つのではなく積極的に市自身の手で機運を盛り上げてゆくべきであると意見が一致、強く理事者に要望した。②工場誘致については、土地の確保、労働力、あるいは環境整備、地元産業との関係など幾多の多様な問題があることは今さら論を待たないところであり企業の資産、資本金を始め、業務、経営方針およびその内容、過去の実績等詳細かつ綿密に調査研究することはもとより今日の激しい経済情勢の変化に即する適確な情報収集は何よりも肝要であると思料される。従ってこれらに要する経費については十二分に予算化し、万全を期して対処されるよう強く要望した。

市民から提出された請願・陳情

採択されたもの		
番号	件名	提出者
請願 3	団体営圃場整備事業に対する助成について	大野市塚原土地改良区設立準備委員会 委員長 大野原 登外25名
請願 4	市立保育所の早期建設について	右近次郎 佐々木久子外17名
請願 8	市道の舗装について	阪谷地区区長会長 小豆 弥作外3名
陳情 1	私立幼稚園に対する助成費の増額について	大野市私立幼稚園PTA連合会 会長 川崎 功一外1名
継続審査となったもの		
番号	件名	提出者
請願 1	市道認定について	森本区長 岸本 守外21名
請願 2	市道編入について	大門区長 中村 年松外5名
請願 5	市道編入について	松丸区長 斉戸 義男外3名
請願 6	市道測溝の改修について	泉町1区長 中出繁三郎外2名
請願 7	市道測溝の改修について	千歳区長 岸名 一栄外15名
請願 9	市道の拡幅改良について	七板区長 沢田佐次郎外2名
陳情 2	市道認定について	森山区長 斉藤 忠男外25名